

令和5年 公民館新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、日頃から喬木村公民館の事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年、新型コロナウイルスに振り回された一年でした。十一月から感染が拡大した第八波が落ち着く気配はなく、長野県では毎日二千人を超える感染者が出ています。平常な社会経済活動を維持するという一方で、行動制限



の要請は出ていませんが、油断せず、感染対策を徹底して行こうと考えています。さて、コロナ禍で昨年も公民館事業は思うように実施できませんでした。感染対策が徹底できる事業は、できる範囲でいいのでやってみようという方向に変わってきました。これは、三年を超えるコロナ禍で公民館が担ってきた役割が果たせなくなり、地域コミュニティの崩壊につながりかねないという危機感が社会全体に出たからだと思います。徹底した感染対策ができれば、公民館事業を実施することに対して、地域の方の理解は得られるようになったのだと思います。

十二月に実施した駅伝大会には二十五チームが参加してくれました。飯伊地区の感染は拡大していた中で開催になりましたが、実施の可否について参加チームの方々に諮りしたところ、殆どのチームから「実施してもらって差し支えない」という意見をいただきました。実施に踏み切ることができました。

喬木村出身者による寄稿 ~美し郷への想い~

春祭りへの郷愁

豊丘村 福島荒治 (旧姓松澤) 93歳

春祭りの主役は、獅子舞である。弥生三月の声を聞くと、獅子舞の練習がはじまるのであった。夕食後、五右衛門風呂につかっていると、上の方から信男さんが、ハーモニカを吹いて通り過ぎていく。毎夜獅子舞の練習に出掛けていくのだ。少年の頃春祭りを夢みてどんな待ちわびていたことか。



韓郷神社の獅子舞

私は、韓郷神社の獅子舞が村中では一番、かつこよく、一段と趣に富んでいると思うのである。私の兄は当時の獅子頭の繰り人の第一人者であったことも、誇りであった。獅子舞の楽曲は、三部から起承転結に構成されて、篠笛が主流である。旋律の流れは、一、春の眠りから目覚める獅子。二、山から里へ下っていく

喬木少年野球クラブ キヤッチボールマンツウ

全国大会出場

キヤッチボールクラブは、七月二日に行われた飯田大会にて準優勝し、大阪府荒川少年運動公園で行われる全国大会に出場することになりました。

クラブの皆さんは、七月二日に行われた飯田大会にて準優勝し、大阪府荒川少年運動公園で行われる全国大会に出場することになりました。

大会は第一回戦惜敗という結果にはなりませんが、全国大会の経験を生かし今後のご健闘をお祈りいたします。

たかぎ短歌会

師走歌会詠草

野良ネコも日々愛おしく 今日も又 小椋 りよ
 菜洗う我に「にやあ」と振りむく
 東京へ貰われた子猫風ちゃんは今 内山 貴子
 大事にされたる便りが届く
 久々の慰安旅行はゆったりと 木下 寿子
 湯船に浸かり友と語らう
 我が家にもコロナが入り儘ならず 知久 美子
 友の差し入れ感謝にたえず
 過疎地ゆえコロナは無縁と 内山 和子
 言いきれぬ
 喉の違和感に鏡を覗く

村民の皆さんにとってよい年となることを願い、新年の挨拶とさせていただきます。

朝々に寒風ついてウオーキング 田中 妙子
 紅葉の上に今朝は大霜
 天竜に川霧たちこめ柿すだれ 市瀬 准子
 今一番の仕上がりお待ち
 全身を楽器の如く響かせて 元島 康子
 うたうハンガリーより来し歌姫は 塩澤 静男
 点滴に生命を繋ぐ妹よ 木林 睦枝
 産土神の加護祈るのみ 福澤 亀人
 38度線いかなる苦難を 越え来しや
 語らぬままに逝きし父上
 初雪と紛う綿虫ちらつきて 伊那谷の秋やけに駆け足

石鹸づくり

楽遊塾 第三講座

公民館楽遊塾第三講座は十月三十日、賜さん、前沢さんの御指導のもと、廃油を利用して石鹸づくりが開催されました。

今現在、石鹸づくりのメンバーは四人。この石鹸づくりの会が出来たのは、平成七年。村内の下水道が整ったことにより各家庭の台所から廃油を流さなくなりました。固めて捨てるより廃油を利用して石鹸を作ればゴミも減り、その石鹸で台所もきれいになり一石二鳥になるのではないかと、

当時の消費者の会の方たちから始まったようです。石鹸の作り方は、材料廃油五リ、苛性ソーダ七百五十g、水三リ、竹炭パウダー少々。廃油を温める。水に溶かした苛性ソーダを温めた廃油の中に少しずつ入れて行く。その入れ方がとても難しく、廃油があふれ出したり、うまく混ざらなくなってしまう。少しずつ、少しずつ何回にも分けて入れて行きます。全てを入れ終えた後、しっかりと攪拌して、竹すずみ



ウダーを入れ、またかき混ぜます。トロリとなったら火を止めて、容器に移します。その容器に、毛布や布団を被せて乾燥させます。ゆつくりと乾かすため三週間程かかり完成します。賜さんが実演で、とても汚れた魚焼き器に粉石鹸を振りかけ数分後にスポンジで洗うと、きれいに汚れが落ち、参加者が驚いていました。食器だけでなく、顔を洗ったり身体も洗えます。もちろん洗濯にも使う事が出来る。

編集後記

ロシアのウクライナ侵略に伴う資源・エネルギー価格の上昇、アメリカやヨーロッパでの利上げの加速など、成り行きは依然不透明である。

国内では、行動制限のない年末年始を迎えた。新型コロナウイルス感染症の収束には未だ至っていないが、以前の生活に少しずつ戻っていると感じている。冬ごきをはじめとした伝統行事は、是非とも未来へ継承していきたい。

さて、今年「卯年」、株式相場では跳ねる年とされている。ウサギにあやかり、飛躍の年となりますように。